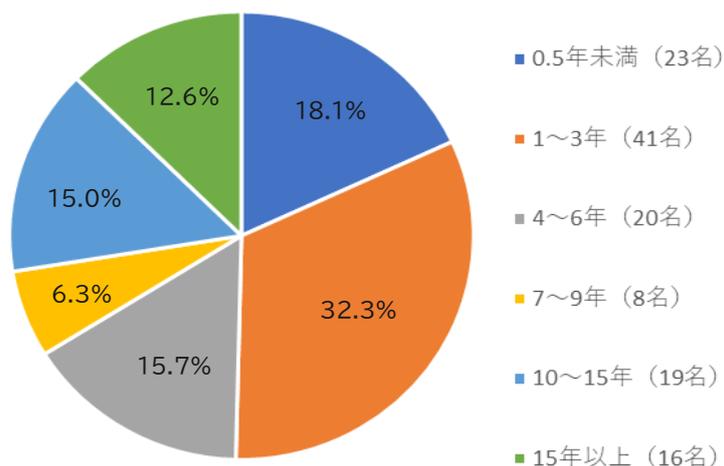


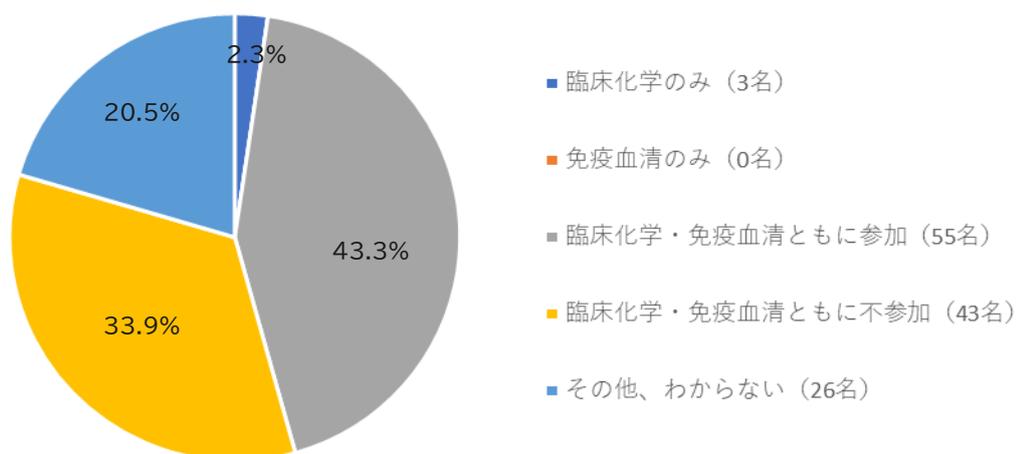
【オンデマンド配信】

アンケート 1) 臨床化学・免疫血清検査経験年数



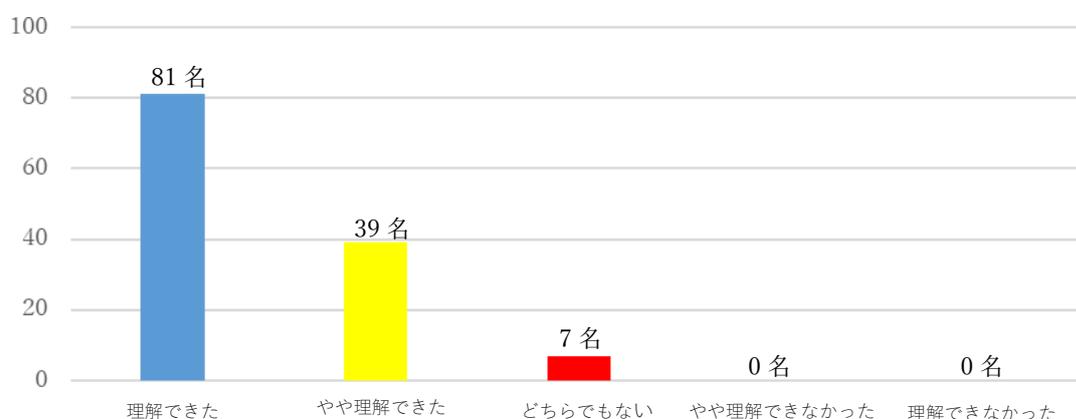
今回レポートを提出していただいた方のおよそ半数が 0.5 年未満（未経験を含む）の方と 1～3 年の方であり、生化学・免疫をはじめたばかりの方が多いように見受けられます。ベテランの方まで幅広くご参加いただきありがとうございました。

アンケート 2) 所属施設の愛臨技精度管理調査参加状況



今回レポートを提出していただいた方の 4 割ほどのご施設が臨床化学・免疫血清ともに愛臨技精度管理調査にご参加いただいていることがわかりました。また、次に臨床化学・免疫血清ともに不参加のご施設の方に多くご回答いただきました。

アンケート 3) 『令和 5 年度愛臨技精度管理調査報告』の講義に対する理解度



レポート提出 127 名中、9 割以上の方が理解できたとご回答いただきました。

アンケート 4) 本研究会のどのような点が特に役に立ちましたか（一例）

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

* 自施設において、尿化学の精度管理物質の検討を行っていたので、他施設においてどのようなものを使っているか知ることができ、参考になりました。

* 腫瘍マーカーの測定において、メーカーによる認識抗原の違いがあることが、精度管理上問題があることが分かりました。

* 他県での精度管理がどのような点を重視して行われているか解説や統計で理解できました。

アンケート 5) ご意見ご感想など（一例）

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。

今回頂戴しましたご意見に対し、以下の通り、一部ご回答させていただきます。

ご意見①：臨床化学のアンケートで、各施設で「不確かさ」を求めているか、確認していただくに興味深いかもしれませんね。

回答①： 貴重なご意見ありがとうございます。現状確認していませんので、今後のアンケート内容の参考にさせていただきます。

ご意見②： クリニックで数項目だけ院内測定していますが、数項目だけでも参加できたらありがたいなと思います。

回答②： 数項目だけ参加しているクリニックはいくつもあります。自施設で実施している

項目だけ回答していただいても構わないのですが、参加費は一律となりますのでご注意ください。また、項目単位での申し込みはできません。募集要項の調査項目を確認し、必要な部門にお申し込みください。

<まとめ>

2024年2月研究会は昨年に引き続きオンデマンド配信にて実施させていただきました。事前申し込み182名に対して、127名（うち県内61名、県外66名）の方がレポート提出してくださいました。

今回は『令和5年度愛臨技精度管理調査報告』をテーマに挙げ、今年度の愛臨技精度管理調査（臨床化学・免疫血清部門）の結果報告を初心者からベテランの方まで分かり易い内容でお届けさせていただきました。

昨年度の同時期研究会（精度管理調査報告）に比べ、およそ1割ほど多くの方にレポートを提出していただきました。毎年恒例となっている精度管理調査ですが、振り返りを行うことで自施設と他施設の差を把握することができる良い機会かと存じます。今後も引き続き精度管理調査へのご参加に併せて、精度管理調査報告へのご参加もお待ちしております。

今回の研修会が皆様のご施設の精度維持・向上の一助となれば幸いに存じます。引き続き愛知県臨床検査技師会生物化学分析検査研究班をよろしく願いいたします。

以上

作成・回答編集・問い合わせ先：生物化学分析検査研究班

名古屋市立大学医学部附属東部医療センター 中央検査科

伊藤 綾香

TEL：052-721-7171

E-MAIL：emc2206@nagoya-cu.ac.jp